



SAKURA

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 69



さくら病院に入職して11年目になります。急性期病棟で8年の勤務を経て、現在、障害者施設等一般病棟で看護師長として勤めています。

当院は、急性期病棟・地域包括ケア病棟・障害者施設等一般病棟・緩和ケア病棟からなるケアミックス病院です。それぞれに特性があり、最初に勤務していた急性期病棟では、在院日数が短く、治療をメインとした中で、診療補助と日常生活援助を行い、退院を迎えるまでの支援と調整を短期間で行ってきました。現在の障害者施設等一般病棟では、難病の患者様が約7割を占め長期療養の方が多く入院されています。意識障害の方、全面的に日常生活援助が必要な方がほとんどで、人工呼吸器管理も行っています。

療養期間が長く、意識障害があり全面介助が必要な患者様にとって、当病棟は生活の場でもあるため、患者様の個別性を重視しています。そして、そのご家族の意向も患者様自身の意向と捉え、関係性も大切にしてきました。

しかし、長期にわたるコロナ禍の中で、社会生活はもちろん医療現場にも制限が課せられます。当院でも面会制限を行っており、患者様、ご家族にはご不便をお掛けしております。面会できないご家族の気持ちや不安を最小限にするため、面会制限の中でも、できるだけご家族へ患者様の様子を電話でお伝えしたり、医師の面談を設定し、短時間で面会して頂く機会を設けてきました。

今後も、私たちにできることは何かを考え、スタッフ一同日々取り組んでいきたいと思っております。



3内科病棟師長  
小深田 智子

## 1内科 コロナ受入病床



1内科病棟では5月13日から、新型コロナウイルス感染者の受け入れを行っています。病棟の一部を新型コロナウイルス感染者対応病床とし、軽症から中等症の患者様に医療を提供しています。

同病棟内での感染を防ぐため、入り口は2重扉とパーテーションなどを使用し一般病床と区別しています。感染者専用の病室内では、医療者は防護服を着用します。着脱にも順番があり、手順を守り行えるよう手順書を作成し感染対策の徹底を行っています。防護服をきちんと着用することで、接触・飛沫感染しないよう細心の注意を払い医療を継続しています。

地域の安全・安心に向け一般診療と入院が継続できるようにすることも私たちさくら病院の使命です。病棟内で感染が発生しないよう感染管理を行い、今後も地域に根ざした医療の提供を行っていきたいと考えます。



## ワクチン接種

### 新型コロナワクチン接種を行いました

新型コロナワクチンは、発症や重症化を予防し、重症者や死亡者をできる限り減らすことを目的としています。さくら病院では、職員や外部の医療従事者、65歳以上の高齢者の接種を行いました。

### 《新型コロナワクチンの副反応について》

国内で接種が進められているワクチンは2種類あり、どちらも接種後、数日以内に副反応が現れる可能性があります。また、稀にアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）や血管迷走神経反射が起こる可能性があります。

### ◎ワクチン接種後の副反応

発現割合	症 状	
	コミナティ(ファイザー社)	モデルナ(武田薬品)
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1~10%	吐き気、嘔吐	接種後7日目以降の接種部位の痛みなど

- ・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多く、疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。

### ◎職員ワクチン接種後の声

- ・50代男性「少し肩の痛みがあったがあまり気にならなかった」
- ・30代男性「頭痛・吐気・倦怠感・微熱が2日間あって、きつかった」
- ・20代女性「接種翌日の昼から頭痛があり、何もしたくなかった」
- ・20代女性「1回目も2回目も症状なく元気だった」



## 新任ごあいさつ



医師 河野 徳子

初めまして。今年の4月から勤務させて頂いています。河野徳子(かわのりこ)です。

専門は呼吸器内科です。長引く咳や喘息・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などでお困りの方がいらっしゃいましたら、お役に立てればと思います。専門性の高い呼吸器疾患や気管支鏡検査・胸腔ドレーン挿入など手技が必要となるような疾患は、大学病院など他院に御紹介させて頂いています。

さくら病院は、急性期・回復期・慢性期の診療をしており、外来に通院されていた方が急性期疾患で入院をして、リハビリをした後に関連施設に入所したり、当院からの訪問診療を受けて頂いたりして、病院を変えることなく長くお付き合いさせて頂くことができる病院です。また、築4年と病院もきれいで雰囲気もいいので、気持ちよく過ごして頂けるのではないかと思います。皆様の気持ちに寄り添いつつ、微力ながら地域の皆様のお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

## 部署紹介

## 外来



外来では、診察に来られた患者様が安心して診療が受けられること、そして安全に不安なく治療や検査を受けることができるように、

医師をはじめとする多職種が連携しながら日々の業務を行っています。

毎日150人近い患者様がさくら病院を受診されます。病気を抱えた方、身体の不調で不安な方など様々です。多種多様な患者様のニーズを、限られた時間の中でキャッチし診療に繋がられるようにスタッフ一同日々頑張っています。

昨年は、移動式カートを導入し、外来のフロアに看護師を配置。何かあれば気軽に声をかけることができる空間づくりに取り組みました。また、看護師もフロアの状況や患者様の状態を観察し、必要時は迅速な対応・診療に

繋がられるように患者様のそばで寄り添える環境となりました。

また、もう一つの取り組みとして、昨年からは健康診断担当看護師を配置しました。当院では、健康維持・増進のための各種健康診断やがん検診、予防接種なども積極的に行っています。担当看護師が責任を持ちご案内することで、スムーズに安心して健康診断を受けて頂けるようになりました。

その他にも、在宅療養支援病院として地域のクリニックと連携を図り、24時間訪問診療が可能な体制を作り、自宅でも安心して生活できる環境を整えています。

これからも地域に根差した病院、患者様のニーズに応える看護を目指し取り組んでいきたいと思っております。健康に関する相談や不安などあればお気軽に声をかけてください。



## 病院機能評価 副機能：緩和ケア病院 さくらユニット

2021年5月7日に、病院機能評価 緩和ケア病院 機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0の認定証が届きました。

病院機能評価は、全国の病院を対象に、組織全体の運営管理及び提供される医療について、中立的・科学的・専門的な見地から、患者様の視点に立った、良質な医療の実践がされているか評価されます。さくら病院の緩和ケア病棟は、福岡市で最も早く緩和ケアに取り組んだ病棟です。先輩方が積み上げてきたものを継承しつつ、常に新しい知識等も取り入れて、緩和ケア医療の質の向上に努めてきました。今回の受審では、多様な職種が協働して、患者様やご家族のニーズに応えているか問われました。多様なニーズに対応するため、緩和ケアチームで毎週カンファレンスを行い、より良い医療を提供できるように取り組んでいます。

評価の結果明らかになった課題に対しては、現在改善に向けて意欲的に取り組んでいます。今後も緩和ケアチーム全員で、患者様の視点に立った、良質な医療を提供できる様に日々努力をしていきたいと思えます。

わたしの

## 趣味時間 コロナ禍のお家時間の過ごし方・・・



### おうちヨガ

リハビリテーション科 志波さん

コロナの影響で、オンライン講座・レッスンが増えたので、海外や有名な先生のレッスンが受けられるようになり、おうちヨガの楽しみができました。



### ギター作り

事務課 永田さん

高校生の頃を思い出してギターを引っ張り出しポロンポロンとやりはじめ、ネットでギター自作動画に出会い10年前から作り始めました。サイドの板(マホガニー)を曲げるのに失敗し折れてしまい挫折しそうになったり、作製途中で色々な失敗がありました。試行錯誤しながらも段々と音はそれなりに良くなってきています。今までにギター4本、ウクレレ2本が完成し、現在ギター5本目のニス塗装の段階です。



### お菓子作り

1内科 松口さん

コロナ禍で、家で過ごす時間が増えました。昔からお菓子作りは好きだったのですが、時間がなくなかなか作ることが出来ていませんでした。最近は時間を見つけては、子供達と一緒に作ったり、子供が学校に行っている間におやつを作ったりして過ごしています。

### 家庭菜園

リハビリテーション科

矢部さん

コロナ禍で自宅で過ごす時間が増え、子供と一緒に家庭菜園(ハーブ系)を始めました。



こんにちは!

## 地域医療連携室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

地域医療連携室(医療介護相談室)では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただきます。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

### 地域医療連携室

TEL 092-864-1245

FAX 092-864-1213

受付 平日 8:30~17:00  
土曜日 8:30~17:00

担当者 室長 吉瀬  
副室長 松山  
医療ソーシャルワーカー  
足立・山本・吉田  
事務 谷山



## 外来診察表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
午前	第1診察室	栗原 可南子 神経内科	小柳 尚子 循環器内科	東 大樹 内科/糖尿病内科	加藤 禎史/大木 公介 総合内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	河野 徳子 内科/呼吸器内科
	第2診察室	小田 晋也 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	岩崎 敬雄 リハビリテーション科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診察室	江頭 省吾 内科/循環器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	東 大樹/大城 彩香 糖尿病内科
	第5診察室	吉田 芽 健診/ドック	村上 修二 内科/心療内科	天野 角哉 内科/消化器内科	中野 修治 健診/ドック	田邊 桃香 内科	
	第6診察室	楠原 浩之 内科/消化器内科	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック	池内 伸光 呼吸器内科	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック
	午後	第1診察室	天野 角哉 内科/消化器内科	江頭 芳樹 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	村上 祐一 内科/消化器内科	
第2診察室		栗原 可南子 神経内科	福田 高士 糖尿病内科	米良 英和 神経内科	江頭 啓介 総合内科	小田 晋也 内科/循環器内科	
第3診察室		秋満 俊介 内科/循環器内科	河野 博之 内科/循環器内科	加藤 禎史/大木 公介 総合内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
第5診察室		田邊 桃香 内科	小柳 尚子 循環器内科	村上 修二 内科/心療内科	中野 修治 健診/ドック	中園 智美 心療内科	
第6診察室		河野 徳子 内科/呼吸器内科	吉田 芽 健診/ドック	磯部 泰司 腫瘍血液内科	楠原 浩之 内科/緩和ケア内科	堀端 智子 内科/消化器内科	

## 病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線/福大前下車1番出口より徒歩10分
- 都市高速/堤ランプより車で3分
- 車/天神より約30分(本館地下駐車場、本館東側に第2駐車場があります。)
- バス/西鉄バス(さくら病院前バス停下車)の場合
  - 天神方面より: 協和ビル前のりば片江(当)行……………13番
  - 西鉄大橋駅より: ……………外環700番
- 西鉄バス(西片江一丁目バス停下車)の場合
  - 天神方面より: 警固神社・三越前のりば片江(当)行……………114番
  - 協和ビル前のりば片江(当)行……………12・140番
  - 西新・飯倉方面(脇山口)より: ……………95番
  - 博多駅方面より: 博多駅前のりば片江(当)行……………16番
  - 博多バスターミナル片江(当)行……………12・114番
  - 桧原・片江方面より: ……………6・12・16・95・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院

医療法人社団 江頭会 さくら病院

サービス付き高齢者向け住宅

住宅型有料老人ホーム

在宅医療介護センターさくら 訪問看護ステーションさくらんぼ ホスピコート長尾 アドバンスケア長尾

社会福祉法人 桜花会 ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会 ライフケアしかた

社会福祉法人 桜花会 ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570  
E-mail:info@sakurahp.or.jp ホームページ:http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL 1内科 092-872-5611  
事務所 092-801-7386 2内科 092-872-5612  
ユニット 092-872-5615 3内科 092-872-5613